

公的年金制度の特徴

老後に備えて貯蓄をしても…

人は、何歳まで生きるかは予測できない
(どれだけ貯蓄をすればよいのかわからない)

いつ、障害を負ったり、小さな子どもがいる時に
配偶者を亡くす (=所得を失う) か、わからない

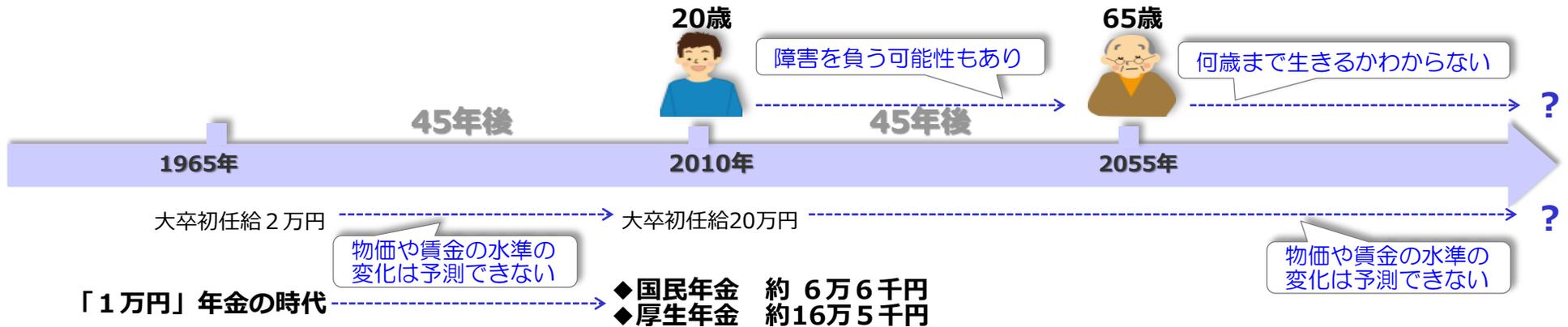
50年後の物価や賃金の変動は予測できない
(貯蓄しても、将来目減りするかもしれない)

公的年金なら…

終身 (亡くなるまで) の支給

障害年金・遺族年金の支給

実質的な価値に配慮した年金の支給



昔と今の物価

品 目		1965年	→	2010年
鶏肉	100g	71.8円		129円(1.8倍)
牛乳	瓶 1本	20円		114円(5.7倍)
カレーライス	1皿	105円		742円(7.1倍)
コーヒー (喫茶店)	1杯	71.5円		411円(5.7倍)
ノートブック	1冊	30円		144円(4.8倍)

(出典：小売物価統計調査)

一般に、民間金融機関が販売する個人年金保険(金融商品)は、**将来の物価上昇を考慮しておらず、有期の支給が中心となっています。**(「将来、〇万円を払います」、「10年間払います」など)